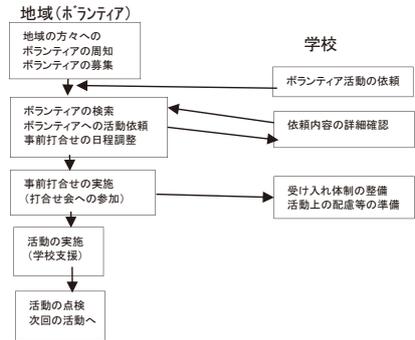


学校のニーズに合わせ学習支援を行い、伝統文化の保存にも貢献しています！

鹿児島県指宿市		● 活動名 川尻小学校支援地域本部		● 関係する学校名 指宿市立川尻小学校	
開始年度	平成 20 年度	学級数	6 学級	児童・生徒数	52 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 28 人	属性	保護者、地域住民		
参考 URL	http://www.synapse.ne.jp/kawasirishou/				
● 連絡先	指宿市立川尻小学校			☎ 0993-32-2058	

● 体制図



● 活動の概要・経緯

川尻小学校区では、朝の挨拶運動を校区公民館の役員が行ったり、PTA 会員が学校施設の補修をしたりするなど長きにわたり、地域で学校を支える雰囲気が出ていた。地域と学校がより緊密な連携を図りながら、学校支援活動の拡充を目指し、平成 20 年度から文科科学省の学校支援地域本部事業を導入している。また平成 23 年度からは、文科省委託事業による取組の成果を継続するために「いぶすき学校応援団」としても、発展的に活動が実施されている。

現在、ボランティア登録人数は 28 人と多くはないが、事業を有効的に活用し、地域コーディネーター（地区公民館主事）を中心に地域事業本部・PTA・地域住民が連携した学校支援を展開している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

学校支援事業本部では、地域ボランティアの方々を持っている専門的な知識や技能などを学校支援に生かし、田植えや芋栽培等の農業体験や、俳句や茶道教室等の学習支援活動を中心に行っている。また、学校経営基本構想に地域と連携した特色ある教育活動として「棒踊り・和太鼓の伝統芸能の継承」を位置付け、伝統芸能保存会と連携し、運動会や地域行事で披露するために保存会の方々から指導を受ける機会になり、伝統文化の継承に貢献している。これらの学校支援活動は、地域ボランティアの優れた技能や技術を教職員が直接学べる機会になっており、教職員の資質向上の一助となっている。また、地域ボランティア自身にとっても地域の子供たちに、自らの知恵や技能を教えることで、生涯学習の成果や生きがいの実感に繋がり、地域の教育力向上へと発展している。

【実施にあたっての工夫】

川尻小学校は地域全体の学校という認識から、地域本部事業・PTA・地区公民館の 3 つの団体のどれかに偏って学校支援を要請するのではなく、バランス良く地域と学校が関われるように活動が行われている。地域コーディネーターに川尻校区公民館主事を置くことで、学校や地域だけでなく、公民館長なども距離が近くなり、事業がスムーズに行われている。

● 事業を実施しての効果・成果

学校支援地域本部事業が開始され、ボランティアで学校を訪れた方を子供が覚え、学校外で会った時も「〇〇さん、こんにちは」などのような挨拶が交わされるようになった。そのことが、ボランティアの方にとっての生きがいに繋がっており、コーディネーターからのボランティア依頼を断る方はおらず、楽しんでボランティア活動に参加している。また、川尻小学校区は駐在所がなくなったことから防犯面で不安がある。そのため、学校支援地域本部事業を活用し、子供たちの学習支援だけを目的とするのではなく、地域の方に子供たちの顔を知ってもらうことによる防犯も期待できる。

● その他

川尻小学校で行われている学習支援は、主に田植え・芋植え・俳句・書写・茶道・水泳指導、また、棒踊り・和太鼓など伝統文化といった多岐にわたった支援が行われている。



俳句教室



棒踊り指導

ポイント

地域コーディネーターを中心に P T A や地域住民が連携しています。地域ボランティアから子供と教職員が学ぶだけでなく、ボランティア自身も生涯学習の成果を活かして活動することで、生きがいにつながっています。